

新高3 春の集中学習会 教材その2

識別練習 集中講座① 「なむ」識別20問挑戦

解答解説編

a..終助詞「なむ」

未然形に接続

〜てほしい(他者への願望)

b..強意の助動詞「ぬ」未然形+推量(意志)助動詞「む」終止形

連用形に接続

きつと〜だろう(しよう)

c..係助詞「なむ」

種々の語に接続

訳さなくても意味が通じる

d..ナ変動詞(死ぬ・往ぬ)活用語尾+推量(意志)助動詞「む」終止形

出題は、既習の教科書と「まぎらわしい語の識別マスター」からです。

① 名をば、さかきの造となむいひける。 c

② 橋を八つ渡せるによりてなむ八橋と言ひける。 c

③ 桜花散らば散らなむ 散らずとて古里人の来ても見なくに a 散ってほしい

④ いふかひなくは思はざらなむ a 思わないでほしい

⑤ 日ごろは山寺にまかりありきてなむ。 c※「侍る」など結びの語が省略されている。

⑥ 髪もいみじく長くなりなむ。 b きつと長くなるだろう。

⑦ 昔人は、かくいちはやきみやびをなむしける。 c

⑧ 家にも宮仕へ所にも、会はで**ありなむ**と思ふ人、

b きつと会わないでいようと思う人

⑨ さあらむ所に一人**往なむ**や。 d

⑩ いまひとたびのみゆき**待たなむ** a 待つてほしい

⑪ いづくなりとも**まかりなむ**。 b きつと参りましょう

⑫ 十一月の月も**隠れなむ**とすれば、 b きつと隠れようとするので

※「隠れ」は下二段動詞なので未然形か連用形下の判断ができない。

↓文脈で判断。「月」自身が他に願う表現は考えにくい。強意+推量と判断

⑬ 山の端逃げて、入れずも**あらなむ**。 a 入らないでいてほしい

⑭ 親のあはすれども、聞かで**なむ**ありける。 c

⑮ 鳥部山谷に煙の燃え立たばはかなく見えし我と**知らなむ** a 知ってほしい

⑯ まめまめしきものは**まさなかりなむ**。 b きつとよくないだろう。

⑰ 母北の方**なむ**古の人の由あるに、 c

⑱ ★いつしか梅の花**咲かなむ**。 終助詞 **早く**梅の花が咲いてほしい。

⑲ ★明日には梅の花**咲きなむ**。 強意+推量 きつと咲くだろう。

⑳ ★梅の花**なむ**咲く。 係助詞 梅の花が(他の花でなく)咲く。

★のついた三つは「なむ」の識別例文として覚える！ 重要